

しりべし経済レポート

Vol.118

(令和8年3月発行)



財務省 北海道財務局 小樽出張所



<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

目次

総括判断	1
個人消費	2
観光	4
住宅建設	5
公共工事	6
生産	6
雇用	7

【参考】

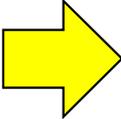
金融	8
企業倒産	9

=利用に当たっての注意=

- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

1. 【令和7年10月～12月期 総括判断】

管内経済は、持ち直している

	前回（7.7～9期）	今回（7.10～12期）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

2. 【各項目の判断】

	前回（7.7～9期）	今回（7.10～12期）	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観光	回復しつつある	回復しつつある	
住宅建設	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しの動きに一服感がみられる	
公共工事	年度累計では前年を上回る	年度累計で前年を上回る	
生産	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

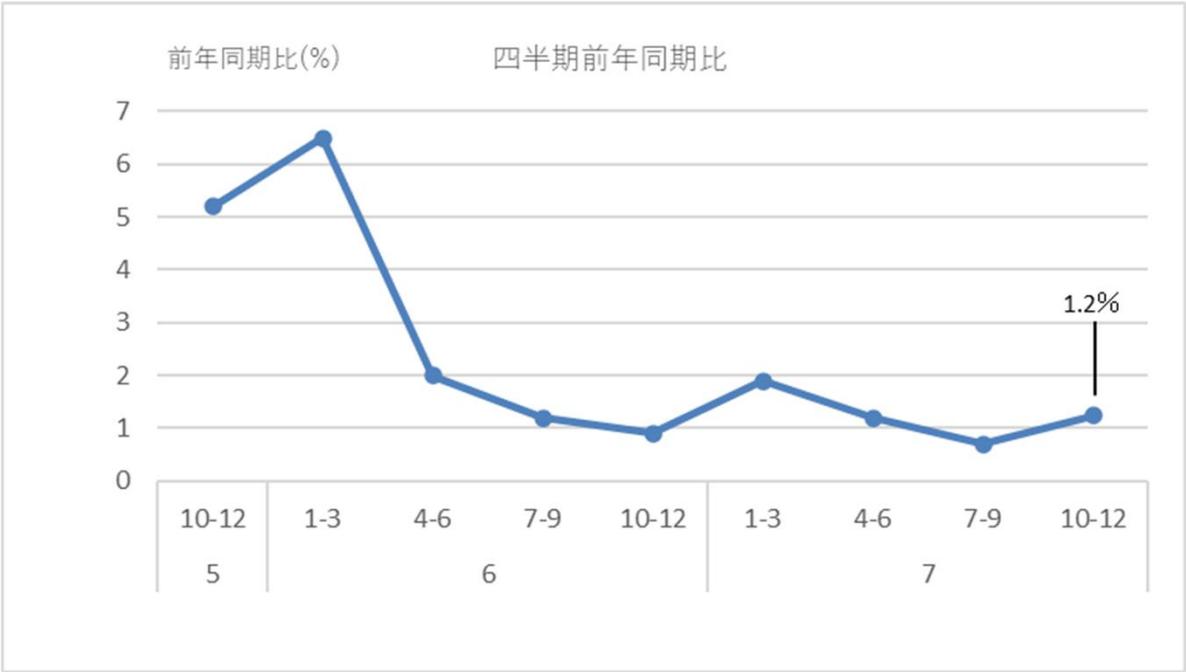
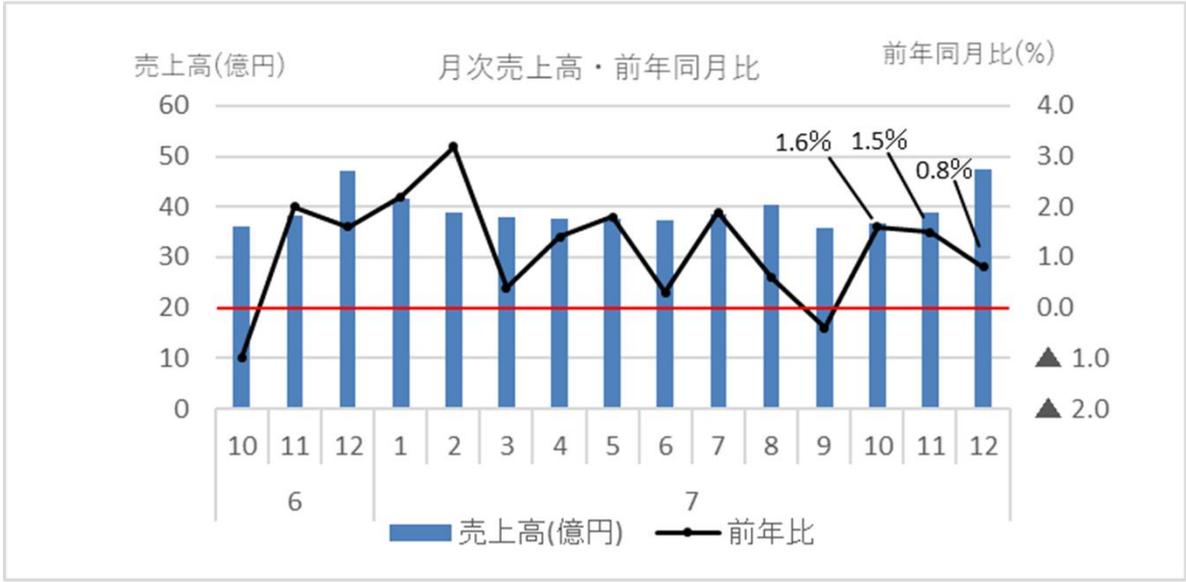
【個人消費】

持ち直しつつある

主要小売店売上高は、節約志向が継続しているが、物価高の影響から前年を上回っている。

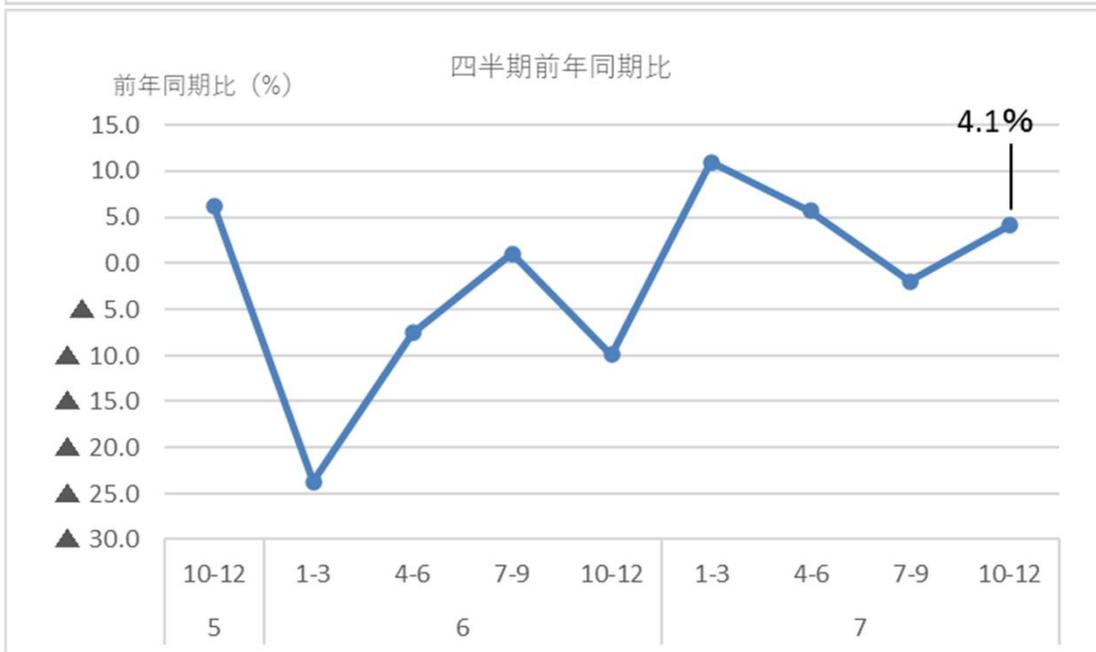
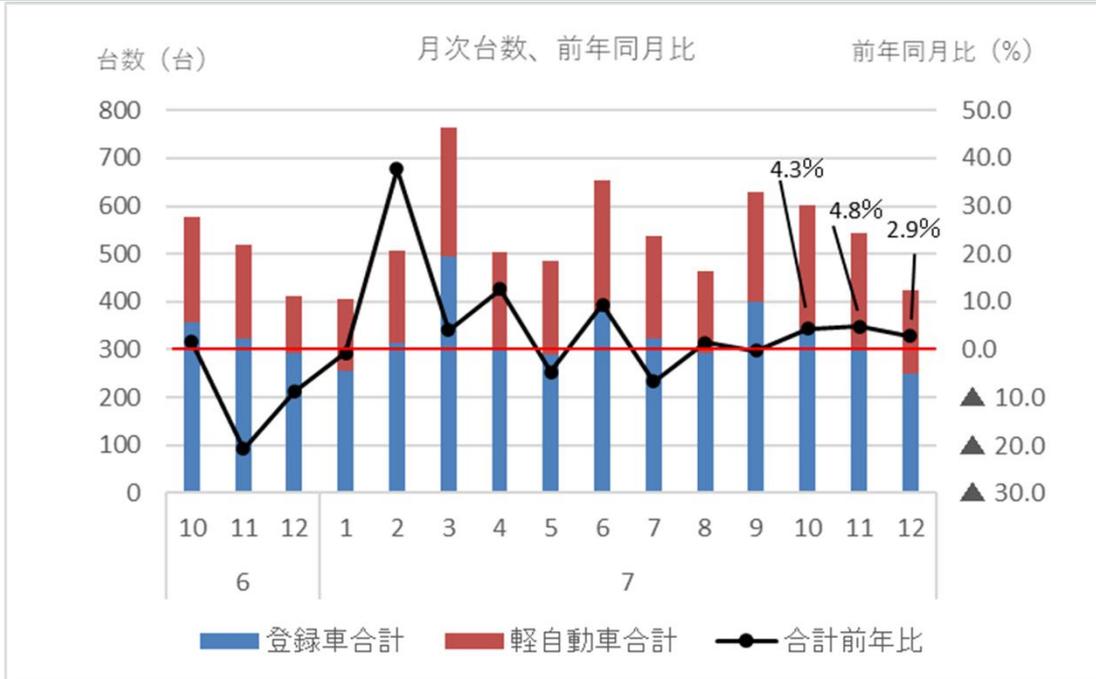
新車登録・届出台数は、軽自動車や小型乗用車に人気があることから、前年を上回っている。

主要小売店売上高の推移



(資料) 北海道財務局小樽出張所

新車登録・届出台数の推移



(資料) 北海道財務局小樽出張所

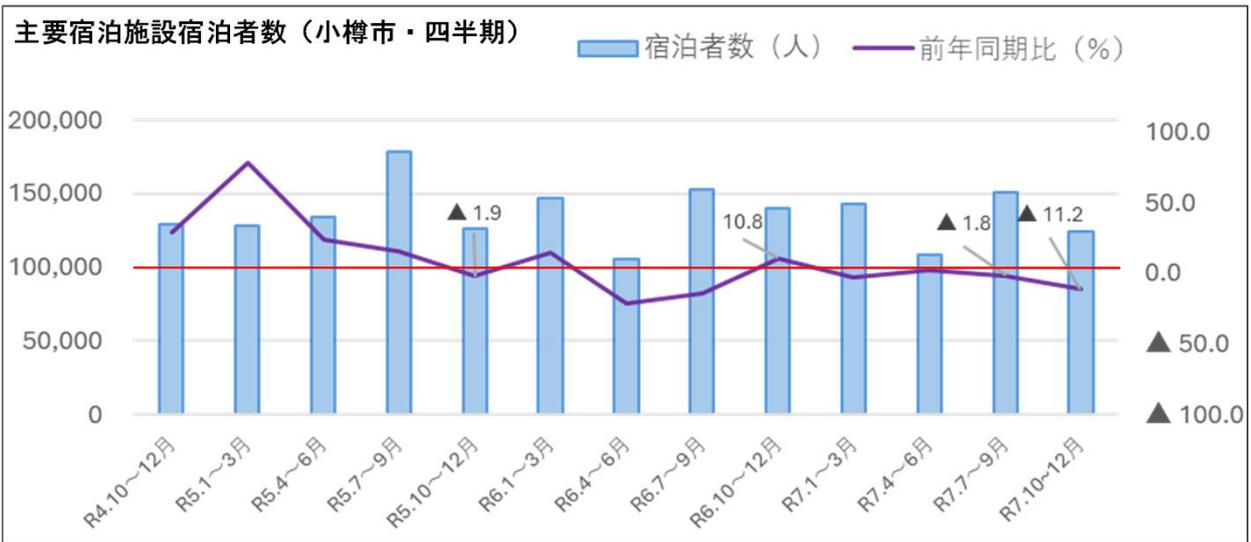
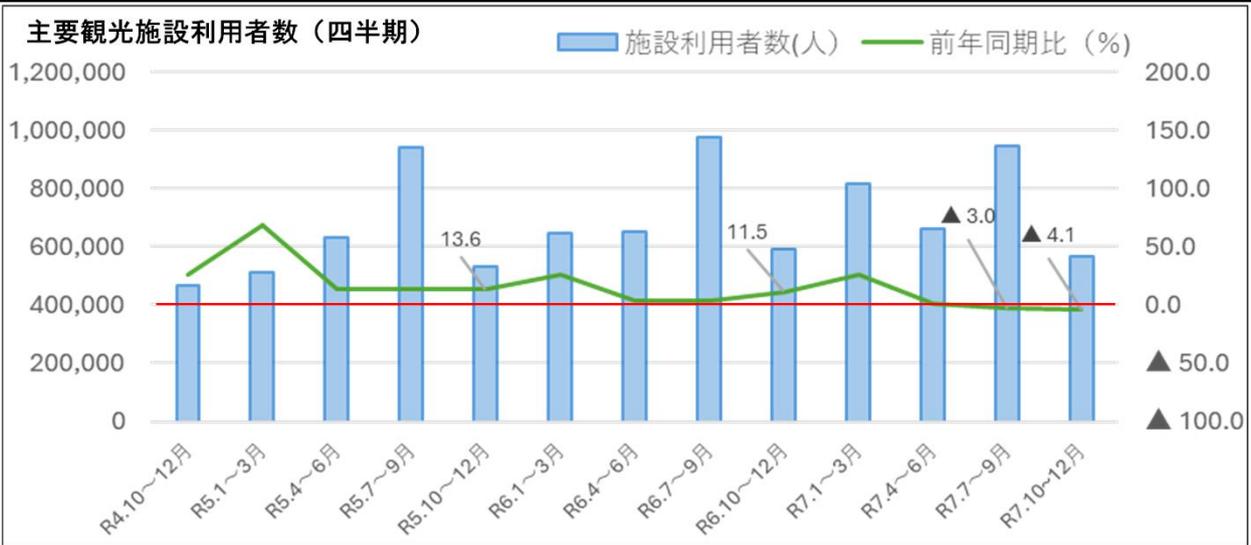
個人消費に関する生の声

- ・10月の3000点以上の一斉値上げにより、顧客単価が上昇している。(小売店)
- ・特に総菜系の即食簡便需要が強く、店舗でもクリスマスやお正月らしいものを買ってもらうように、ファミリーサイズと1人用サイズの寿司やオードブル、チキン、サラダなどを販売すると売れ行きが良かった。(小売店)
- ・物価上昇による客単価上昇に伴い、買い上げ点数は昨年割れが続いている。(小売店)
- ・物価高の影響から、顧客の価格に対する感度が高いため、販売価格を慎重に設定している。(小売店)
- ・大容量パックのように内容量を増やした商品を販売することで、安く購入かつ買いだめできるといったねらいで販売している。(小売店)
- ・10~11月は気温が下がりにくく、鍋の具材やアウター・防寒具の売行きが良くなかった。特にアウターや防寒具は毎年買い替えるものでもないため、節約意識が働き、購入を見送ったと思われる。(小売店)
- ・引き続き、軽自動車やコンパクトカーの需要が根強い。(乗用車販売店)
- ・50代以上の層が顧客の半分以上を占めることから、引き続き安心・安全面を重視している顧客が多いと感じる。(乗用車販売店)
- ・車検代を抑えようという動きが見られ、今年1月まで使用可能であった小樽市のプレミアム商品券を使う顧客もいた。(乗用車販売店)
- ・オイル代やタイヤ交換にかかる費用が高止まりしている。車検も相見積りのもと、内容および車検代を比較して依頼先を決めている顧客が見受けられ、費用についてシビアな様子がうかがえる。(乗用車販売店)

【観光】

回復しつつある

主要観光施設利用者数及び主要宿泊施設宿泊者数は、物価高の影響や一部海外団体客の減少の影響があったことから、前年を下回っている。



(資料) 北海道財務局小樽出張所

観光に関する生の声

- ・中国からの団体客数は大きく減少したものの、円安の影響もあり、東アジアからの個人客は引き続き来店しており、消費額への影響はさほど大きくなかった。(観光施設)
- ・メディアなどの影響で週末にかけて道内各地からの来訪者が集中した一方、物価高の影響もあり道外からの客は多くなかった。11月以降は悪天候が続いたため、施設利用者数は前年を下回った。海外客については、SNS等の影響により東アジア方面からの来場が引き続き見られた。(観光施設)
- ・中国からの団体客数は大きく減少したものの、SNSの影響もあり東アジアからの個人宿泊客は一定数確保できており、客室稼働への影響は大きくなかった。国内客については、物価高や熊の出没などの影響により道外からの宿泊者が減少した。(宿泊施設)
- ・中国人宿泊客の減少が報道されているが、時期的に欧米豪からの宿泊客の比率が高いため、減少の印象は薄く、一定数は確保できているとみられる。(公共団体)

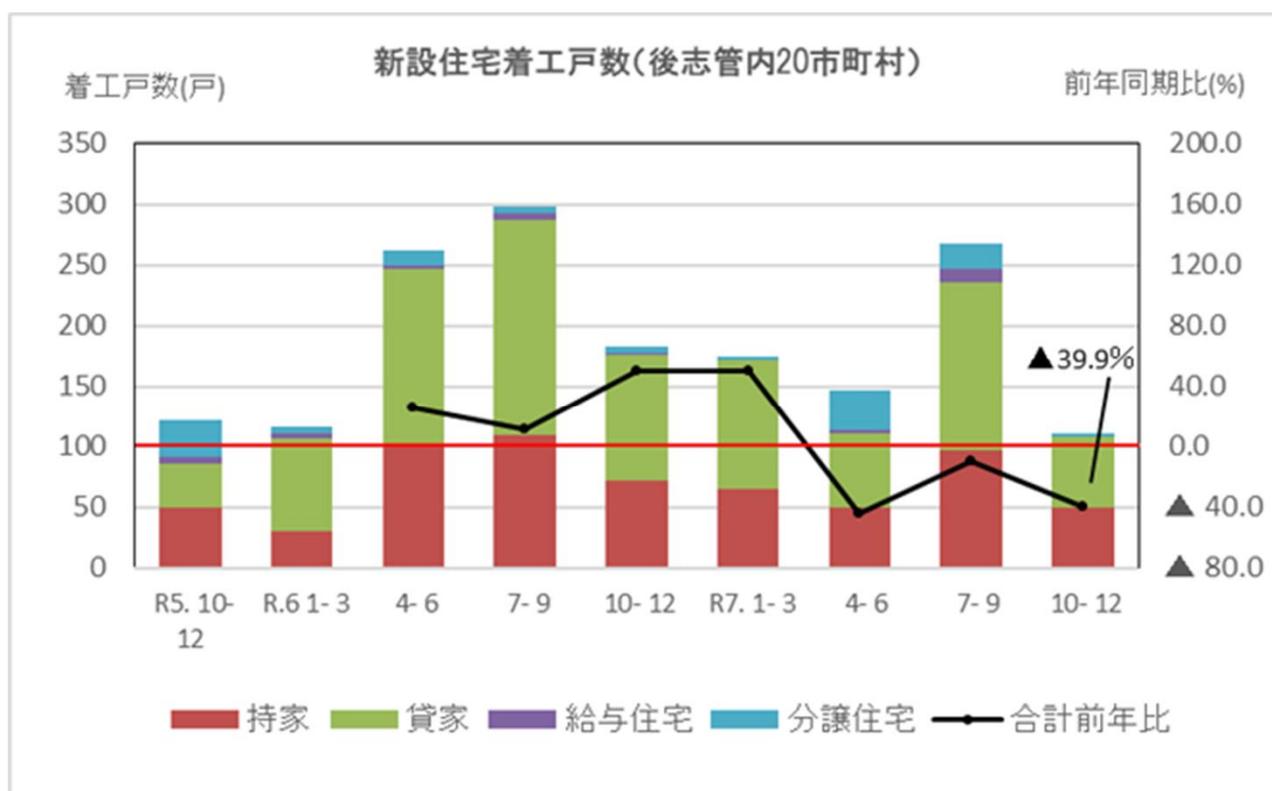
【今後の見通し】

- ・これから冬のハイシーズンを迎えるにあたり、道内各地のイベント開催や、卒業旅行シーズンの到来により国内外から来客が続くことが見込まれ、来店数は高い実績になると予想される。また中国政府による渡航自粛の影響がある一方、東南アジア方面からの観光客が増加していることから、昨年度並み以上の客数を期待している。(観光施設)
- ・冬季はイベント開催の影響もあり、例年宿泊需要が高まることから、高稼働を期待している。3月では札幌で人気アイドルのコンサートが開催予定であり、チケット当選発表直後に客室予約が満室となったことから、宿泊客数増加を見込んでいる。(宿泊施設)

【住宅建設】

持ち直しの動きに一服感がみられる

新設住宅着工戸数は、全ての項目において前年を下回っており、全体でも前年を下回っている。



(資料) 国土交通省

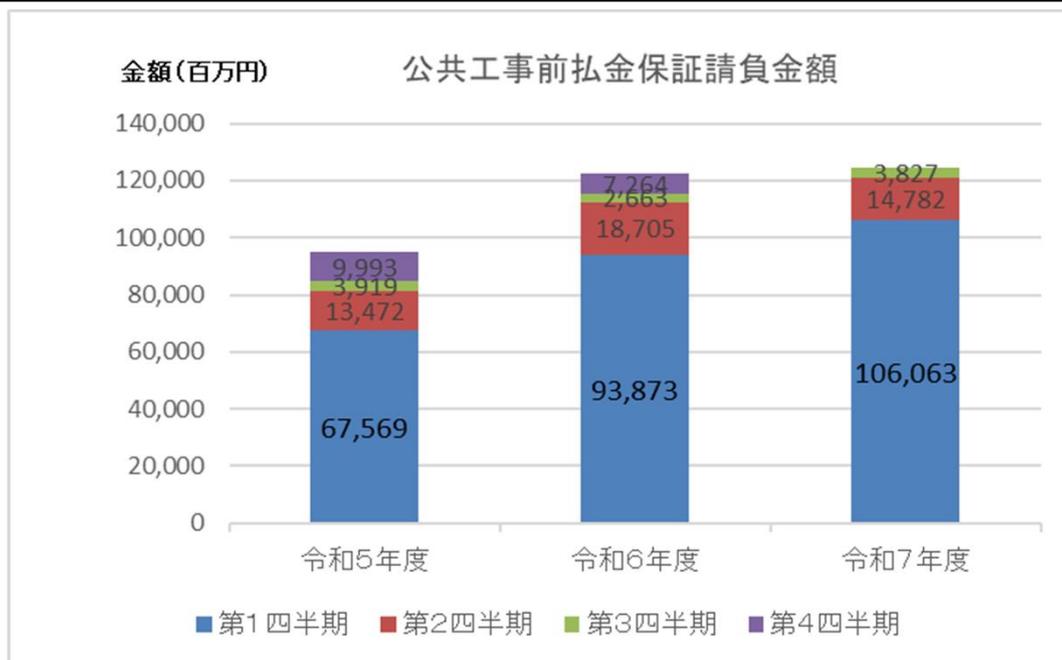
住宅建設に関する生の声

- ・ 確認申請の件数が年々減少傾向にある点と、物価の高騰が進んだことで家を建てる際の工事費が増加し、件数が微減している。(公的機関)
- ・ 土地の価格は高止まりしており、建築費の高騰のほうが目立つ。(建設会社)

【公共工事】

年度累計で前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額でみると、四半期合計(令和7年10月から12月)は前年を上回っており、年度累計でも前年を上回っている。



(資料) 北海道建設業信用保証協

※四半期の数字は、端数の関係で単月3ヶ月の累計と一致しない。

【生産】

持ち直しつつある

生コン出荷状況は、官需は前年を上回っているが、民需は前年を下回った。全体では前年を下回っている。

水産加工稼働状況は、サケ等不漁による原材料不足に加えて、円安に伴う仕入れ価格上昇の影響から低調となっている。

金属加工は、軌道整備にかかる部品の受注増加等から、好調となっている。
機械生産は、前年までの受注量が多かったことによる反動減から、低調となっている。

プラスチック製品は、漁業製品の需要により、順調となっている。
ゴム製品は、建築需要による受注があることから、安定した操業となっている。

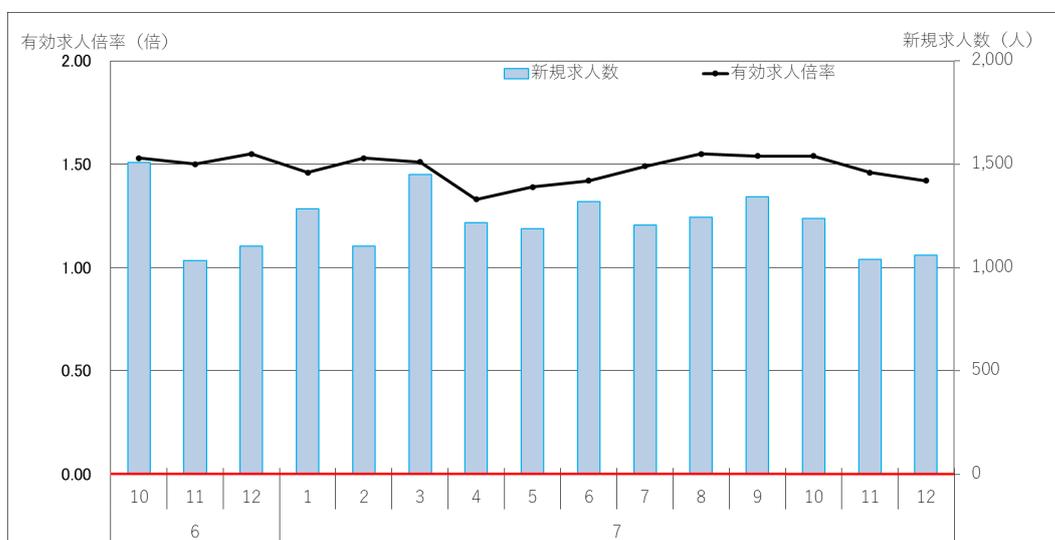
【雇用】

緩やかに持ち直している

有効求人倍率は前年を下回っている。なお有効求職者数、有効求人数ともに前年を下回っており、有効求人数の減少幅のほうが大きい。

新規求人数は、前年を下回っている。ヒアリング先からは、民間求人媒体を積極的に利用している等の声が聞こえており、企業の求人意欲が高い状況が続いている。

有効求人倍率（常用・原数値）、新規求人数



(単位:人、%、倍、ポイント)

	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比
6年	29,565	▲ 6.1	42,701	▲ 6.2	1.44	▲ 0.01	6,607	▲ 5.5	14,898	▲ 6.5
7年	28,778	▲ 2.7	42,248	▲ 1.1	1.47	0.03	6,404	▲ 3.1	14,693	▲ 1.4
6.10~12	6,965	▲ 6.8	10,634	▲ 3.7	1.53	0.05	1,477	3.6	3,647	▲ 1.9
7.1~3	6,970	▲ 7.3	10,467	▲ 3.7	1.50	0.05	1,708	▲ 7.2	3,838	▲ 5.0
4~6	7,707	▲ 3.9	10,633	▲ 0.3	1.38	0.05	1,867	0.1	3,725	6.6
7~9	7,154	1.3	10,906	3.6	1.52	0.03	1,462	2.7	3,793	2.1
10~12	6,947	▲ 0.3	10,242	▲ 3.7	1.47	▲ 0.06	1,367	▲ 7.4	3,337	▲ 8.5
7年7月	2,402	▲ 0.6	3,576	3.4	1.49	0.06	517	▲ 3.9	1,207	▲ 18.3
8月	2,364	2.4	3,655	4.5	1.55	0.04	447	6.9	1,244	16.3
9月	2,388	2.3	3,675	2.7	1.54	0.01	498	6.4	1,342	14.9
10月	2,381	▲ 0.3	3,672	0.7	1.54	0.01	492	▲ 7.9	1,238	▲ 17.9
11月	2,337	▲ 0.3	3,408	▲ 3.3	1.46	▲ 0.04	454	▲ 9.0	1,039	0.4
12月	2,229	▲ 0.3	3,162	▲ 8.7	1.42	▲ 0.13	421	▲ 5.2	1,060	▲ 4.0

(資料) 小樽・岩内公共職業安定所

※本指標は常用と常用パートの合計である。

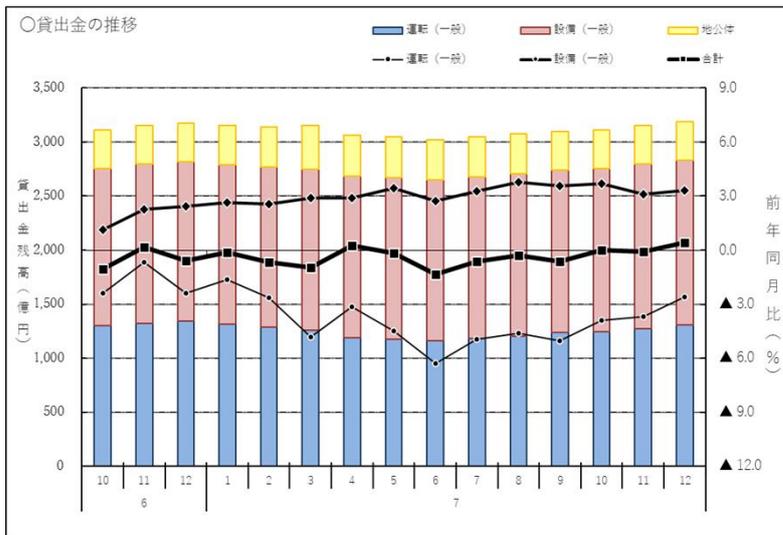
雇用に関する生の声

- ・物価高の影響により、シニア層の求職は引き続き増加している。一方で求人倍率は依然として1.0倍を上回っており、求人の総量をまかなえている状況とは言えず、人手不足は続いていると言える。(公的機関)
- ・地域の住居数が少なく社宅等を有していない企業においては、より一層の人手不足が進んでいる。(公的機関)
- ・若手社員をひとつのチームとして編成し、日頃から相談し合える関係を築くことで、若手社員の定着率向上を図る取組を実施している。(製造業)
- ・スポットワークの利用には躊躇していたが、箱の組立やシール貼付等の軽作業で、募集を試みたところ、予想以上の応募があり、人手不足感が緩和された。(製造業)

参考

【金融】

金融（貸出金）



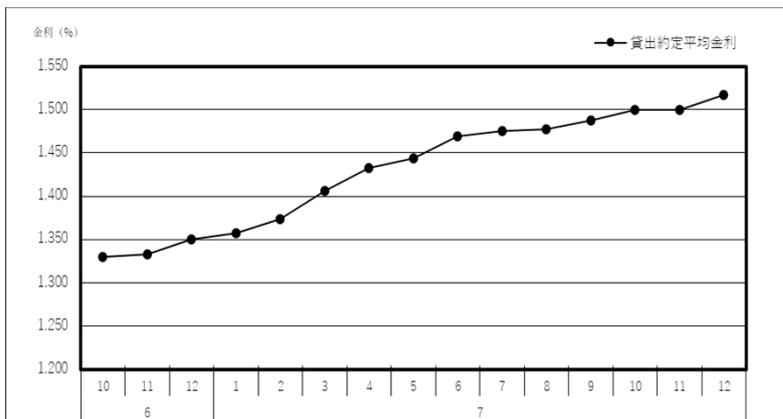
(資料) 北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				前年比
	設備(一般)	運転(一般)	地公体	合計	
6年3月	144,881	132,088	41,192	318,161	▲1.6
7年3月	149,090	125,726	40,266	315,082	▲1.0

7年7月	149,566	118,217	37,233	305,016	▲0.6
8月	150,472	120,229	37,233	307,934	▲0.3
9月	150,409	124,004	35,428	309,841	▲0.6
10月	151,041	124,801	35,495	311,337	0.0
11月	152,089	127,551	35,489	315,129	▲0.1
12月	153,024	130,484	35,489	318,997	0.4

※1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。
 2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。

金融（貸出約定平均金利）



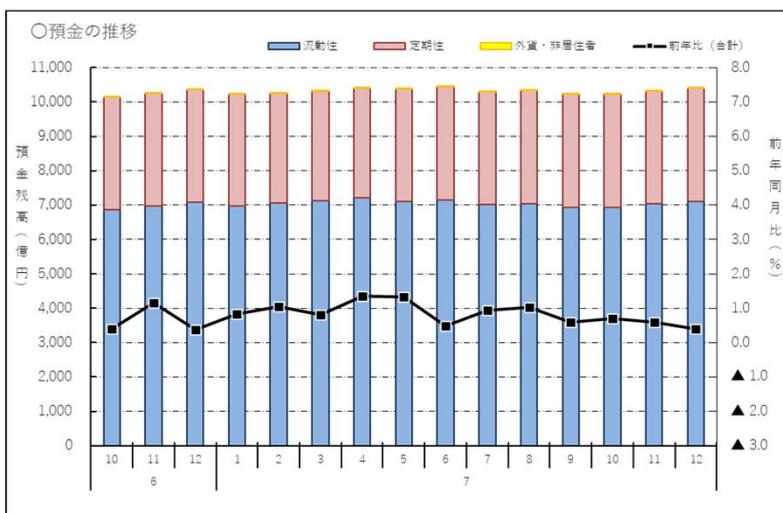
(資料) 北海道財務局小樽出張所

	金利(%)	前年差(Pt)
6年3月	1.257	0.016
7年3月	1.406	0.149

	金利(%)	前月差(Pt)
7年7月	1.475	0.006
8月	1.477	0.002
9月	1.488	0.011
10月	1.500	0.012
11月	1.500	0.000
12月	1.517	0.017

※統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

金融（預金）



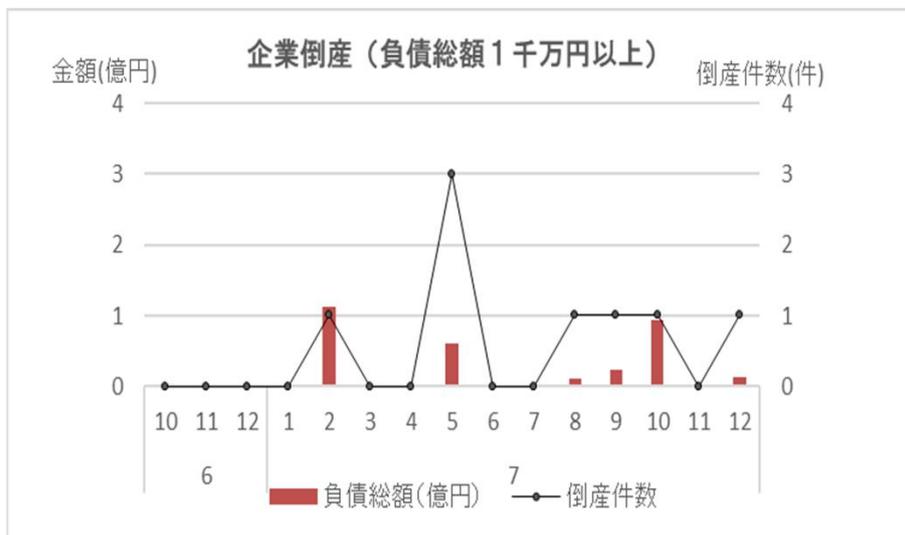
(資料) 北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				前年比
	流動性	定期性	外貨・非居住	合計	
6年3月	693,703	328,964	492	1,023,159	2.8
7年3月	711,771	318,813	956	1,031,540	0.8

7年7月	700,758	329,058	1,758	1,031,574	0.9
8月	704,747	328,997	1,012	1,034,756	1.0
9月	692,267	329,695	679	1,022,641	0.6
10月	694,103	327,633	767	1,022,503	0.7
11月	703,277	327,741	661	1,031,679	0.6
12月	711,479	327,834	605	1,039,918	0.4

※統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

【企業倒産】



(資料) ㈱東京商工リサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
5年	13	2.2倍	1,947	16.9
6年	6	▲53.8	426	▲78.1

6年10-12	0	皆減	0	皆減
7年1-3	1	▲50	112	▲64.7
7年4-6	3	50	60	3.0倍
7年7-9	2	0	34	▲61.8
7年10-12	2	皆増	106	皆増

7年7月	0	0	0	0
7年8月	1	▲50	10	▲88.8
7年9月	1	皆増	24	皆増
7年10月	1	皆増	93	皆増
7年11月	0	0	0	0
7年12月	1	皆増	13	皆増

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒047-0007

小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

E-mail HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp